

令和 5 年度（生活介護事業所）すていじ仙台 事業報告

1、施設概要

所 在 地	仙台市泉区高森七丁目 1－4
利用定員	35 名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

（1）運営基盤の安定に向けた環境整備

- ・多様な支援活動を基に自立に向けての取り組みや楽しく働くシステムづくりを目指した。
- ・利用者の健康管理と多様な作業メニューを通して、日々の利用拡大を図った。

（2）職員の資質向上

- ・施設内外の実践に即した研修への参加を促し、知識・技術の向上を目指した。

（3）福祉 QC サークル活動の推進

- ・今年度は福祉 QC サークルの活動はなかったが、日々の業務の中で改善が必要な場面があった際には月 1 回の職員会議にて職員に共有し、改善を図った。

（4）委員会機能の活性化

- ・円滑な事業展開を展開出来る様、委員会活動を法人共通で行った。

（5）利用者及び家族に対する相談支援

- ・個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談、相談を行った。
- ・個別支援計画に基づき、個人に応じた必要な支援を行った。

（6）レストラン事業や生産活動の拡充で安定した売り上げの確保

- ・レストランの運営とお弁当やスイーツの販売を行った。また季節商品を考案しチラシを作る等して販売促進に努めた。
- ・ヨシケイのシート拭き、乾物作業、カーテンテープ作業、匠ソリューションズの商品封入作業等の受託作業と新たにリサイクル売却を始め収入につなげた。また、今年度より新たに明泉幼稚園の紙ナプキンの梱包作業を請け収入につなげた。
- ・規程に基づき月々の支給金と年 2 回（6 月・12 月）賞与の支給を行った。

（7）余暇関連

余暇活動	活 動 日	主な活動内容（発表・披露・参加）
合 唱	第 2・4 木曜日	コロナウイルス・インフルエンザ等の感染防止の為中止
すずめ踊り	第 2・4 月曜日	コロナウイルス・インフルエンザ等の感染防止の為中止
ストライキング エクササイズ	第 3 木曜日	コロナウイルス・インフルエンザ等の感染防止の為中止
利用者自治会	第 4 金曜日	コロナウイルス・インフルエンザ等の感染防止の為中止

4、主たる利用者と利用者の状況（令和6年3月31日現在）

（1）登録者数 33名

（2）利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	0名	0名	12名	13名	7名	1名

（3）通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数（人）	34	34	34	34	34	34	33	33	33	33	33	33	33.5
開所日数（日）	22	22	22	22	22	22	23	22	22	22	20	23	264
延通所者数（人）	660	651	671	629	645	645	666	639	639	594	567	644	7650
1日平均利用者人数（人）	30.0	29.6	30.5	28.6	29.3	29.3	29.0	29.0	29.0	27.0	28.4	28.0	29.0
利用率（%） （1日平均利用者/定員）	85.7	84.5	87.1	81.7	83.8	83.8	82.7	83.0	83.0	77.1	81.0	80.0	82.8

5、年間行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	内容及び参加者数
1	マルシェ	令和5年 7月1日（土）	販売訓練、利用者親睦交流 利用者 27名
2	クリスマス会	令和5年 12月9日（土）	季節行事 利用者 24名

6、事業担当職員（職員構成：令和6年3月31日現在）

施設長	常勤 1名
サービス管理責任者	常勤 1名（兼務）
生活支援員	常勤 7名
医師	非常勤嘱託 1名
看護職員	常勤 0名 非常勤 2名
栄養士	非常勤 1名
調理員	常勤 1名（兼務）
調理員補助	非常勤 3名（兼務）

7、緊急時の対応

防災計画に基づき、防災訓練（地震・火災）年2回（6/28、11/21）を実施し、非常時に備えた。

令和5年度（生活介護事業所）フォレスターナ仙台 事業報告

1 施設概要

所在地	仙台市泉区高森7丁目1-2
利用定員	30名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2 本事業所の支援理念

ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すことともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3 事業内容

(1) 個別支援

- ① 個人の障害特性や能力に応じた創作・軽作業活動を取り入れ、利用者に適した支援を図ることに努めた。
- ② 利用者の活動意欲と潜在能力が喚起できる作業及び訓練内容と支援体制の整備を図ることに努めた。

(2) 日常生活支援

- ① 個人の状況に応じ、食事、排泄、身体介護、健康管理等の日常生活に必要な援助に努めた。
- ② 個人の状況に応じた創作活動や身体機能または、生活能力の向上に必要な援助に努めた。

(3) 生産活動支援

- ① 個人の障害特性や能力に応じた活動メニューを取り入れた支援を行った。
- ② 個人の活動意欲と潜在能力が喚起できる訓練に努めた。

(4) 地域交流支援

- ① 地域の住民、ゲートボール場利用者に対して、休憩スペース（地域交流室）の貸し出しを行った。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

- ① 利用者の家族が抱える不安や悩み等に対し、相談・助言、情報提供等の支援に努めた。

(6) 余暇関連

- ① 外部講師によるストライキングエクササイズを行い運動等による機能の維持と体力増強を目的とした余暇活動を行った。
- ② 誕生会を開催し、誕生者のお祝いを行うと共に利用者同士の交流が図れるよう支援した。
- ③ 料理教室を開催し、料理活動への参加並びに利用者同士の交流が図れるよう支援した。
- ④ リトミックやカラオケ、パーカッションといった施設内での余暇活動を実施した。

4 主たる利用者と利用者の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 登録者数 32名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0名	0名	0名	2名	2名	12名	16名	32名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	23	22	22	22	20	23	264
延通所者数(人)	581	574	596	566	567	566	593	584	579	568	535	597	6906
1日平均利用者人数(人)	26.4	26.1	27.1	25.7	25.8	25.7	25.8	26.5	26.3	25.8	26.8	26.0	26.2
利用率(%) (1日平均利用者/定員)	88.0	87.0	90.3	85.8	85.9	85.8	85.9	88.5	87.7	86.1	89.2	86.5	87.2

5 年間行事

No.	開催・参加・行事	開催日時	参加対象	主な内容
1	花見	令和5年4月上旬	利用者 32名	季節行事 (桂島緑地、南川ダム等)
2	七夕会	令和5年8月上旬	利用者 32名	根白石七夕飾り見学 (ドライブ)
3	芋煮会	令和5年10月18日(水) 10月20日(金)	利用者 17名 利用者 13名	季節行事 (ゲートボール場にて開催)
4	クリスマス会	令和5年12月22日(金)	利用者 27名	季節行事 (ビンゴ大会、ケーキ喫食、 クリスマスプレゼント)
5	成人を祝う会	令和6年1月10日(水)	利用者 29名	季節行事 (新成人を祝う会)
6	節分	令和6年2月3日(金)	利用者 28名	季節行事 (豆まき、茶話会)
7	ひなまつり	令和6年3月1日(金)	利用者 27名	季節行事 (桃の貼り絵、しおり制作)

6 事業担当職員(職員構成:令和6年3月31日現在)

施設長	常勤兼務	1名
サービス管理責任者	常勤兼務	1名
生活支援員	常勤	13名(中央タクシー職員2名を含む)
	常勤兼務	2名
	非常勤	2名
医師	非常勤嘱託	1名
看護職員	常勤	0名
	非常勤	3名
事務員	常勤兼務	1名
栄養士	非常勤兼務	1名
調理員	常勤兼務	1名
	非常勤兼務	1名

7 緊急時の対応

防災計画に基づき、防災訓練(地震・火災)年2回(6/22、11/21)を実施し、非常時に備えた。

令和5年度 生活介護事業所 フォレスターナ若林 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市若林区卸町東2丁目5-16
利用定員	30名
設置主体	社会福祉法人 チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。また社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ① 利用者ひとり一人の能力・特性・ニーズに応じた支援の提供と、潜在能力の助長に努めた。
- ② 利用者の健康管理に配慮しながら活動を支援し、事業所への安定した通所に努めた。

(2) 日常生活支援

- ① 利用者ひとり一人の状況に応じた、食事・排泄・身体介護・健康管理等、日常生活に関する援助に努めた。
- ② 利用者ひとり一人の状況に応じた創作活動を提供し、身体機能または、生活能力の向上を目指した支援に努めた。

(3) 生産活動支援

- ① 利用者ひとり一人の障害特性や能力に応じた活動メニューを取り入れた支援を行った。
- ② 利用者の活動意欲と、潜在能力が喚起できる訓練に努めた。

(4) 地域交流支援

- ① 日中活動を通して近隣の事業所の職員や地域の住民とふれあい交流を図った。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

- ① 利用者の家族が抱える不安や悩み等に対し、相談・助言、情報提供等の支援に努めた。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	目的
ストライキング エクササイズ	毎週水曜日 または木曜日	運動等による機能の維持と体力増強に努めた
誕生会	毎月	誕生者のお祝い、会食を実施した

4、主たる利用者と利用者の状況（令和6年3月31日現在）

1) 登録者数 31名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0名	0名	0名	1名	4名	8名	18名	31名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	32	32	32	32	32	32	31	31	31	31	31	31	378
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	23	22	23	23	20	23	266
延通所者数(人)	474	583	583	564	542	524	559	530	534	541	478	539	6,451
1日平均利用者人数(人)	21.5	26.5	26.5	25.6	24.6	23.8	24.3	24.1	23.2	23.5	23.9	23.4	24.3
利用率(%) (1日平均利用者/定員)	71.8	88.3	88.3	85.5	82.1	79.4	81.0	80.3	77.4	78.4	79.7	78.1	80.9

5、年間行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	参加対象	主な内容
1	七夕会	令和5年7月7日(金)	利用者26名	季節行事
2	納涼会	令和5年8月31日(水)	利用者32名	季節行事
3	ハロウィンパーティー	令和5年10月26日(水)	利用者26名	季節行事
4	クリスマス会	令和5年12月21日(木)	利用者27名	季節行事
5	節分	令和6年2月2日(金)	利用者26名	季節行事
6	ひな祭り	令和6年2月28日(水)	利用者25名	季節行事
上記のほか、利用者の誕生会、カラオケを実施した。 予定していた外出行事は、今年度も新型コロナウイルス感染予防のため中止した。				

6、事業担当職員(職員構成：令和6年3月31日現在)

施設長	常勤1名(兼務)
施設長代理	常勤1名
サービス管理責任者	常勤1名
生活支援員	常勤12名(中央タクシー職員3名を含む) 非常勤4名
医師	非常勤嘱託1名
看護職員	常勤2名(パート) 非常勤3名(派遣契約社員)
栄養士	非常勤1名(兼務)
調理員	常勤1名 非常勤2名
理学療法士	常勤1名(兼務)

7、緊急時の対応

防災計画に基づき、年2回(6/13,12/25)防災訓練(地震、火災、水害)を実施し、非常時に備えた。

令和5年度（就労継続B型事業所）ふれあい福祉作業所 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市泉区高森7丁目2番 ショッピングガーデン・キャラウェイ内
利用定員	20名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又、社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

就労支援活動(農業、販売、施設外就労等)を通し、一人ひとりの自主性・自発性の向上に努めた。

(2) 日常生活支援

施設外就労を通して「社会人」として必要な基本マナーの習得に努めた。

手洗い・うがい・検温を徹底しコロナウィルス、インフルエンザ感染予防・衛生管理に努めた。

(3) 生産活動支援

農作物の生産・販売、・ヨシケイ宮城、杜のホスピタルでの施設外就労、受託作業を中心に生産活動を行い、毎月の工賃の支給を行った。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談、相談を行った。

4、主たる利用者と利用者の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 登録者数 19名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
3名	0名	3名	8名	5名	0名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	18	18	18	18	19	19	18	18	18	18	18	19	219
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	23	22	22	22	20	23	264
延通所者数(人)	341	346	344	338	345	282	351	344	342	341	311	348	4,033
1日平均利用者人数(人)	15.5	15.7	15.6	15.4	15.7	12.8	15.3	15.6	15.5	15.5	15.6	15.1	15.3
利用率(%) (1日平均利用者/定員)	77.5	78.6	78.2	76.8	78.4	64.1	76.3	78.2	77.7	77.5	77.8	75.7	76.4

5、主な行事

コロナウィルス感染症予防のため、今年度も全体での行事は中止しました。

6、事業担当職員（職員構成：令和6年3月31日現在）

施設長	常 勤	1 名		
サービス管理責任者	常 勤	1 名		
生活支援員	常 勤	3 名	非常勤	3 名
医師	非常勤嘱託	1 名		

7、緊急時の対応

ショッピングガーデン・キャラウェイでの防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を
年2回、実施し、非常時に備えた。

令和 5 年度 グループホームやまてまち（共同生活援助）事業報告

1、施設概要

2、

所 在 地	やまてまち…青葉区山手町 28-32（定員 12 名） きくたまち…青葉区菊田町 10-28（定員 6 名） かみやがり…泉区上谷刈字治郎兵衛下 48-16（定員 10 名） やまてまちⅡ…青葉区山手町 17-8（定員 7 名） さくらがおか…青葉区桜ヶ丘 3-22-18（定員 7 名） かわだいら…青葉区川平 4-30-30（定員 5 名） サテライトやまてまち…青葉区山手町 1-8（定員 1 名）
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

「すべての人が役割を持ち、認め合える社会へ」の法人理念の実現のため、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人が意思決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において輝いて生活することができるよう、利用者ひとり一人の個性に合わせ支援に努めた。

3、事業内容

（1）個別支援

- ・個別支援計画を基に、入居者の障害特性や性格に応じて、それぞれの自立に向けたサービスを提供した。

（2）日常生活支援

- ・障害特性や状況に応じて、洗髪、軟膏塗布、通院等の身体介護を含む支援や、服薬管理等日常生活に必要な支援や、生活能力の向上（それぞれの自立）に向けた支援に努めた。
- ・健康状態を日々確認するとともに、バランスの取れた献立作成及び食事提供を行った。
- ・利用者、職員ともに手洗いうがい、消毒、検温を励行し、感染症予防に努めた。

（3）関係機関、職場との連携

- ・ご家族、相談支援事業所や通院先、通所先、就労先、訪問看護事業所、財産管理等の関係機関等との連絡調整を行った。

（4）利用者及び家族に対する相談支援

- ・生活、就労、余暇、財産管理、心身の不調等の様々な相談に対して、必要に応じた支援及び関係機関の紹介を行った。

（5）余暇関連

- ・感染症予防対策を行いながら、ホーム毎誕生会、季節行事等を実施した。
- ・芋煮会の開催(10 月 29 日 於:スプリングバレースキー場)

4、主たる利用者と利用者の状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

（1）登録者数 44 名(定員 48 名)

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
0 名	0 名	13 名	20 名	8 名	3 名	0 名

(3) 利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
定 員(人)	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	576
利用契約者数 (人)	44	44	45	45	46	46	46	46	45	45	44	44	540
開所日数 (日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延利用者数 (人)	1266	1291	1303	1336	1321	1340	1348	1325	1319	1250	1200	1263	15563
1 日平均利用者人数 (人)	42.2	41.6	43.4	43.1	42.6	44.7	43.5	44.2	42.5	40.3	41.4	40.7	42.5
利用率 (%) (1 日平均利用者/定員)	87.9	86.8	90.5	89.8	88.8	93.1	90.6	92.0	88.6	84.0	86.2	84.9	88.6

5、事業担当職員（職員構成：令和 6 年 3 月 31 日現在）

管理者	常 勤 1 名（兼務）
サービス管理責任者	常 勤 2 名（専従 1 名、兼務 1 名）
生活支援員	常 勤 3 名（兼務）、非常勤 1 名（兼務）
宿 直	非常勤 1 名
世話人	常 勤 5 名（専従） 非常勤 10 名

6、緊急時の対応

- ①防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を実施し、非常時に備えた。
- ②非常災害時(震度 5 強以上の地震等)、ホームを巡回し安否確認を行った。
- ③コロナ陽性者判明時は、事前に想定していたゾーニングを実施し、感染拡大に努めた。

令和5年度（相談支援事業所）マリアージュ仙台 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市青葉区本町3丁目5-22 管工事会館5F
利用定員	なし
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

近年、利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されてきている。当事業所としては、ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めた。そして彼らのストレングスが十分に生かされるよう、環境改善も意識し、働きかけを行った。又、社会の一員としてさらに地域住民として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

- (1) 計画相談支援の提供（アセスメント、利用契約等含む）
- (2) サービス等利用計画の作成
（アセスメント、計画案作成、サービス担当者会議、計画作成・提出～一連の計画業務）
- (3) 継続サービス利用支援（モニタリング）
（モニタリングの実施、報告書の作成）
- (4) 利用者負担額等の受領事務
- (5) 支援費請求事務
- (6) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務（基本相談として）等

4、主たる利用者と利用者の状況（令和6年3月31日現在）

- (1) 登録者数 287 名（うち児童34名含む）
- (2) 利用者障害支援区分

区分なし	うち児 童	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
98 名	うち 34 名	9 名	48 名	41 名	43 名	28 名	20 名

3）契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新契約者数	2	0	0	1	1	1	0	1	1	3	3	1	14
計画作成	24	19	20	22	34	29	32	26	25	39	24	44	338
継続支援	69	82	82	87	71	85	79	84	86	80	83	71	959

5、年間行事（職員動き）

月	開催・参加・販売行事	開催日時	参加対象	主な内容
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
ー備考ー ○サビ管連絡会議（隔月回実施） ○AKG（毎月第三水曜日） ○サポネットあおば(毎月1回)				
○「チーム仙台」(年4回実施) ○若林相談連絡会隔月開催 ○泉区よめごと会議隔月開催				

6、事業担当職員（職員構成：令和6年3月31日現在）

所長（管理者）	常勤 1名（兼務）
相談支援専門員	常勤 3名(兼務) ※R5.12～
相談員	常勤 0
事務員	常勤 1名（兼務）

7、緊急時の対応

- ① 防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を実施し、非常時に備えた。
- ② AEDを含む救命に関するDVDによる視覚研修を実施し、緊急時に備えた。

令和5年度（相談支援事業所）マリアージュ若林 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市若林区卸町東2丁目5-16 フォレスターナ若林内
利用定員	なし
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

近年、利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されてきている。当事業所としては、ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めた。そして彼らのストレングスが十分に生かされるよう、環境改善も意識し、働きかけを行った。又、社会の一員としてさらに地域住民として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

- (1) 計画相談支援の提供（アセスメント、利用契約等含む）
- (2) サービス等利用計画の作成
（アセスメント、計画案作成、サービス担当者会議、計画作成・提出～一連の計画業務）
- (3) 継続サービス利用支援（モニタリング）
（モニタリングの実施、報告書の作成）
- (4) 利用者負担額等の受領事務
- (5) 支援費請求事務
- (6) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務（基本相談として）等

4、主たる利用者と利用者の状況（令和6年3月31日現在）

- (1) 登録者数 24名（児童7名含む）

- (2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	児 童
4名	0名	4名	2名	5名	2名	7名	7名

- (3) 契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画作成	1	1	2	1	5	3	4	4	4	5	0	1	31
継続支援	9	7	5	8	5	3	4	7	5	4	5	8	70

5、年間行事（職員動き）

月	開催・参加・販売行事	開催日時	参加対象	主な内容
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
ー備考ー ○「チーム仙台」（年4回実施） ○「若林区相談支援部会」（隔月回～第4水曜日）				

6、事業担当職員（職員構成：令和6年3月31日現在）

所長（管理者）	常勤 1名（兼務）
相談支援専門員	常勤 3名（兼務） ※R5.12～
相談員	常勤 0名
事務員	常勤 1名（兼務）

7、緊急時の対応

- （ア）防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を実施し、非常時に備えた。
- （イ）AEDを含む救命に関するDVDによる視覚研修を実施し、緊急時に備えた。

令和 5 年度（就労継続 B 型事業所）ボーノボーノ大崎東 事業報告

1、施設概要

所 在 地	宮城県大崎市鹿島台船越字鍋田 5 0 - 2
利用定員	2 0 名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリーゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

一人ひとりのニーズによって、日頃の就労支援活動（野菜の収穫、販売、施設外就労等）を通し、自主性・自発性を養成し、「社会人として必要な基礎力」の向上に努めた。

(2) 日常生活支援

約束事である「ボーノボーノルール」、「ボーノボーノ約束事」を朝の会で唱和し、マナーの習得に努めた。また、健康・体力維持のため一日 3 食の食事を摂るように指導を行った。

(3) 生産活動支援

- ・収穫した野菜の販売(おてんとさん、JA)、及び栽培した花(マリーゴールド、パンジー)を地元の行政区等への販売促進に努めた。
- ・リサイクル作業、ギフト作り作業、法人内施設清掃作業、施設外就労作業、個人宅草取り作業、雪掃き作業を行った。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画(ケアプラン)作成時の面談、また、2 ヶ月に一回の面談、相談を行った。

(5) 余暇関連

余暇活動	活 動 日	目 的
映画鑑賞、カラオケ	不定期	感染症感染防止のため中止
外出行事	お花見、初詣	利用者間の親睦を深めるため

4、主たる利用者と利用者の状況（令和 6 年 2 月 29 日現在）

(1) 登録者数 17 名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
6 名	1 名	7 名	0 名	3 名	0 名	0 名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	22	22	20	19	19	18	18	18	18	18	17		220
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20		239
延通所者数(人)	347	343	316	314	266	309	300	295	276	263	268		3297
1日平均利用者人数 (人)	15.8	15.6	14.4	14.3	12.1	14.0	13.6	13.4	12.5	12.5	13.4		13.8
利用率(%) (1日平均利用者/定員)	78.9	78.0	71.8	71.4	60.5	70.2	68.2	67.0	62.7	62.6	67.0		68.9

※新規事業に移行のため、令和6年2月29日をもって閉所となっている。

5、年間行事

No.	行事名	開催日時	実施場所	参加者数
1	お花見	令和5年 4月15日	加護坊山(田尻)	利用者17名
2	芋煮会	令和5年 9月30日	集楽館(鹿島台船越)	利用者14名
3	クリスマス会	令和5年 12月23日	集楽館(鹿島台船越)	利用者18名
4	初詣	令和6年 1月 4日	山神社(美里町小牛田)	利用者12名

6、職員(職員構成:令和6年2月29日現在)

施設長	常勤 1名
サービス管理責任者	常勤 1名
生活支援員	常勤 3名 非常勤 1名
医師	非常勤嘱託 1名
看護職員	常勤 名 非常勤 名
事務員	常勤 名
栄養士	非常勤 名
調理員	非常勤 名

7、緊急時の対応

(ア)防災計画に基づき、防災訓練(避難訓練 11/18・R6.2/10年2回)を実施し、非常時に備えた。

(イ)洪水避難訓練(7/29)を実施している。

令和 5 年度グループホームぼーのぼーの 事業報告

1、施設概要

所在地	宮城県大崎市鹿島台船越沖鍋田 8 0 番地
利用定員	7 名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ・個別支援計画を基に、入居者の障害特性や性格に応じて、それぞれの自立に向けたサービスを提供した。

(2) 日常生活支援

- ・個人の障害特性や状況に応じて、入浴、通院等や買い物の身体介護を含む日常生活に必要な支援を行った他、生活能力の向上（それぞれの自立）に向けた支援に努めた。
- ・健康状態を日々確認するとともに、栄養バランスの取れた献立作成及び食事の提供及び服薬管理を行った。
- ・コロナ禍において、利用者、職員ともに手洗い、うがい、消毒、検温の徹底、不要不急の外出を控え、コロナウィルス感染予防に努めた。

(3) 関係機関、職場との連携

- ・ご家族、相談支援事業所や通院先、通所先、財産管理等の関係機関等との連絡調整を行った。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

- ・生活、余暇、財産管理、心身の不調等の様々な相談に対して、必要に応じた支援を行った。

(5) 余暇関連

余暇活動	活動日	内容
誕生会	該当月	入居者全員でお祝い 利用者 6 名
GW 外食	令和 5 年 4 月 29 日	GW 外食を楽しむ 利用者 6 名
クリスマス会	令和 5 年 12 月 24 日	季節行事を楽しむ 利用者 6 名
ひな祭り	令和 6 年 3 月 3 日	季節行事を楽しむ 利用者 7 名

4、主たる利用者の状況（令和 6 年 3 月 3 1 日現在）

入居者 7 名

① 利用者障害支援区分

区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
1 名	0 名	3 名	0 名	3 名	0 名	0 名

② 入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数（人）	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	73
開所日数（日）	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延入居者数（人）	176	181	180	183	177	180	186	179	177	178	172	211	2180
1日平均利用者人数 （人）	5.9	5.8	6.0	5.9	5.7	6.0	6.0	6.0	5.7	5.7	5.9	6.8	6.0
利用率（％） （1日平均利用者/定員）	83.8	83.4	85.7	84.3	81.6	85.7	85.7	85.2	81.6	82.0	84.7	97.2	85.1

5、事業担当職員（職員構成：令和6年3月31日現在）

管理者	常 勤 1名（兼務）
サービス管理責任者	常 勤 1名（兼務1名）
生活支援員	非常勤 1名（兼務）
夜勤従事者	非常勤 1名(専従) 4名(兼務)
世話人	非常勤 7名(兼務)

6、緊急時の対応

(ア)防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練 12/19・1/29 年2回）を実施し、非常時に備えた。

(イ)洪水避難訓練(8/17)を実施している。

令和 5 年度 障害福祉サービス事業所やまどり 事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋 1 6 2 4 番地
利用定員	指定生活介護事業 1 0 名、就労継続支援 B 型事業 1 0 名、日中一時支援 1 名
設置主体	長野原町
運営団体	社会福祉法人チャレンジドらいふ
事業所	障害福祉サービス事業所やまどり

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努める。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努める。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ① 就労支援活動(受託作業や販売、施設外就労等)を通し、一人ひとりの自主性・自発性の向上に努める。

(2) 日常生活支援

- ① 日常生活面では、日々使用する挨拶を朝の会で唱和し、社会人として必要な基本的マナーの習得に努める。

(3) 受託・生産活動支援

- ① 受託作業においては、その中心であるまんじゅう箱の箱折り、(株)クジオールのくじ作業、にしあがつま福祉会からまつ荘の清拭たたみ・ごみ回収運搬作業、立川電器からの電器部品の組立作業を請け収入につなげている。

尚、からまつ荘のゴミ収集運搬は 3 月 31 日で終了になる。

- ② 国立療養所栗生楽泉園のトイレ清掃作業、長野原町役場の洗車作業（今シーズン終了）、あさまの薪、スウィートグラス清掃を実施し収入につながる。

尚、スウィートグラス清掃作業は、令和 5 年度で終了になる。

- ③ 北軽井沢特産の紅花いんげん豆（商品化正味 48 kg）1 パック 220 g、赤トウガラシ（束、袋詰め）、ポップコーンの販売を行う。草津道の駅、ハッ場道の駅等では完売となっている。

- ④ プラゴミ収集運搬（長野原町委託で、令和 5 年 9 月より開始）を行い収入につながる。

- ⑤ 工賃支給は月々の工賃支給に加え、賞与を 6 月 30 日、12 月 28 日、期末手当 3 月 29 日に支給する。

受託・生産活動の収入は前年度同時期を推移している状態。その結果、就労継続支援 B 型、生活介護においても収入全体から配分している。

尚、令和 6 年 1 月工賃支給分より基本給、出勤手当の見直しを行っている。業務委託契約請負に伴う売り上げ、自主製作品の販売の売り上げが、利用者さんの工賃になるため今後も適宜対応をする。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談に多くの時間をかけたことで、ご本人、ご家族様との信頼関係アップにつなげることができている。

(5) 余暇関連

余暇活動	活 動 日	主な活動内容
アトリエ教室	毎月 1 回 (金曜日)	様々な道具を使用して、季節ごとの作品を作っている。
誕生会	毎 月	誕生者にプレゼントをお渡しして、皆さんでお祝いのケーキを食べている。
ヨガエクササイズ	毎月 2 回程 (金)	機能訓練の維持と体力の増強に努めている。

4、主たる利用者と利用者の状況（令和 6 年 3 月 3 1 日現在）

(1) 登録契約者数 2 5 名 生活介護 1 3 名、就労継続支援 B 型 1 1 名、日中一時 1 名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
2 名	0 名	6 名	8 名	7 名	1 名	1 名

(3) 通所状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用契約者数 (人)	26	26	27	27	27	27	27	26	25	25	24	24	311
開所日数 (日)	22	22	22	22	21	22	23	20	23	21	20	22	260
延通所者数 (人)	494	479	514	486	469	470	499	451	492	433	423	458	5668
1 日平均利用者人数 (人)	22.5	21.8	23.4	22.1	22.3	21.4	21.7	22.6	21.4	20.6	21.2	20.8	21.8
利用率 (%) (1 日平均利用者/利用定員)	112.3	108.9	116.8	110.5	111.7	106.8	108.5	112.8	107.0	103.1	105.8	104.1	109.0

5、主な行事

No.	月行事・年間行事	開 催 日 時	内容および参加者数
1	・お花見	・4/14 (金)	・婦恋グラウンドで散策、仙之入方面へ 24 名
2	・ハイキング	・5/13 (土)	・雨のため中止、室内で DVD の鑑賞
3	・七夕祭り	・7/7 (金)	・やまどり内作業室 20 名
4	・岩櫃真田 忍者ミュージアム 「にんぱく」展示品の鑑賞、忍者体験	・7/8 (土)	・忍者ミュージアム「にんぱく」 16 名
5	・鳥めしとあがつま峡へ	・9/9 (土)	・お弁当とあがつま峡、ハッ場ダムへ 14 名
6	・ヨガエクササイズとかき氷づくり	・9/22 (金)	・やまどり内デイルーム等 22 名
7	・運動会	・10/20 (金)	・若人の館 23 名
8	・アトリエ	・11/10 (金)	・やまどり内作業室等 23 名
9	・長野原町長としめ縄作り	・12/1 (金)	・やまどり内デイルーム 21 名
10	・仕出し弁当を楽しむ	・12/2 (土)	・やまどり 14 名
11	・新年会	・1/4 (木)	・やまどり 20 名

12	・初詣	・1/5（金）	・与喜屋養蚕神社	20名
13	・ドライブ・ランチ	・1/13（土）	・ハッ場ダム、湖の駅	15名
14	・書初め	・1/19（金）	・やまどり	24名
15	・二十歳を祝う会	・1/26（金）	・やまどりデイルーム	24名
16	・節分豆まき	・2/2（金）	・やまどり	23名
17	・ひな祭り	・3/1（金）	・やまどり	23名

6、事業所担当職員（職員構成：令和6年3月31日現在）

施設長	常 勤	1名（兼務）
サービス管理責任者	常 勤	1名（兼務）
生活支援員(職業指導員含む)	常 勤	5名 非常勤 2名
目標工賃達成指導員	常 勤	1名
医師、看護職員	常 勤	0名 非常勤（医師1、看護師1名（兼務））
事務員	常 勤	1名（兼務）
調理員	非常勤	1名（兼務）
運転手	非常勤	2名（兼務）

7、緊急時の対応

- ① 防災計画に基づき、防災・防火訓練を令和5年6月23日に1回目を行う。防災・防火訓練を令和5年12月12日に2回目を消防署員に指導を受ける。年2回の防災・防火の非常時に備える訓練を実施している。
- ② 令和6年4月義務化で事業継続計画（BCP）策定に伴い連絡網の見直しを行っている。
 - ・感染症対策発生時等の対応強化に努めている。
 - ・自然災害（風水害、噴火、火災、土砂災害、雪害等）発生時における事業継続計画では、利用者の預け入れ・引き渡し時の対応を、家族等と今後も協議し決定する。

令和5年度グループホームながのはら 事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字大津18番地―1町営坪井住宅A棟
利用定員	7名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めた。又、社会の一員として地域において、心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ・個別支援計画を基に、入居者の障害特性や性格に応じて、それぞれの自立に向けたサービスを提供した。

(2) 日常生活支援

- ・個人の障害特性や状況に応じて、排泄や入浴、通院等の身体介護を含む日常生活に必要な支援を行った他、生活能力の向上（それぞれの自立）に向けた支援に努めた。
- ・健康状態を日々確認するとともに、栄養バランスの取れた献立作成及び食事の提供、更には服薬管理も継続して実施した。
- ・コロナ禍において、利用者、職員ともに手洗い、うがい、消毒、検温の徹底、不要不急の外出を控え、コロナウィルス感染予防に努めた。

(3) 関係機関、職場との連携

- ・ご家族、相談支援事業所や通院先、通所先など、関係機関との連絡強化に努めた。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

- ・生活、余暇、心身の不調等の様々な相談に対して、必要に応じた支援を行った。
- ・定期的に保護者との懇談会を実施し、情報共有に努めた。

(5) 余暇関連

- ・コロナが第2類から第5類になったことで、季節感を味わうための外出行事を随時実施した。
- ・あわせて、グループホーム内での誕生会や季節行事、バーベキューやクリスマス会など、入居者様の要望に応えた企画も実施した。
- ・地域清掃活動（年3回）参加した。

4、主たる利用者の状況（令和6年3月31日現在）

入居者7名

① 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	0名	2名	3名	2名	0名	0名

② 入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	83
開所日数（日）	30	30	30	31	28	30	31	29	29	29	29	31	358
延入居者数（人）	203	209	208	213	195	207	214	200	202	198	201	185	2435
1日平均利用者人数 （人）	6.8	6.7	6.9	6.9	6.3	6.9	6.9	6.7	6.5	6.4	6.9	6.0	6.7
利用率（%） （1日平均利用者/定員）	96.7	96.3	99.0	98.2	89.9	98.6	98.6	95.2	93.1	91.2	99.0	85.3	95.1

5、事業担当職員（職員構成：令和6年3月31日現在）

管理者	常 勤 1名（専従）
サービス管理責任者	常 勤 1名（兼務）
生活支援員	常 勤 4名（専従1、兼務3）
夜勤従事者	非常勤 5名（専従3、兼務2）
世話人	非常勤 5名（専従2、兼務3）

6、緊急時の対応

（ア）防災計画に基づき、防災訓練を 年2回を実施し、非常時に備えた。

7. その他

ショートステイの受け入れが整ったことから、やまどりの保護者会においてショートステイの実施PRをさせて頂いた。

日中活動事業所を対象とした第三者委員による調査を受けた。

令和5年度 マリアージュ長野原 事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋 1624 番地 障害福祉サービス事業所「やまどり内」
利用定員	なし
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されている。当事業所としては、ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すしながら、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めた。

利用者一人ひとりのストレングスが十分に生かされるよう、環境改善を意識し、働きかけを行った。又、社会の一員として、さらに地域住民として地域においても心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業所運営に関して

契約人数の増加については、前年度の 17 名から 21 名となった。

相談員の資質向上に向けては、法人内外の研修に参加させて頂き研鑽に努めた。

事業所としましては、月・水・木の週三日の事業所開設ではありますが、以下の事業に取り組んだ。

- (1) 計画相談支援の提供（アセスメント、利用契約等含む）
- (2) サービス等利用計画書の作成
（アセスメント、計画案作成、サービス担当者会議、計画作成・提出～一連の計画業務）
- (3) 継続サービス利用支援（モニタリング）
（モニタリングの実施、報告書の作成）
- (4) 利用者負担額等の受領に係る事務
- (5) 支援費請求に係る事務
- (6) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務（基本相談として）等

4、主たる利用者と利用者の状況（令和6年3月31日現在）

- (1) 登録者数 21 名（うち児童 0 名含む）

- (2) 利用者障害支援区分

区分なし	内(児童)	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
2 名	0 名	0 名	4 名	9 名	5 名	1 名	0 名

- (3) 契約状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新契約者数	1				3	1							5
計画作成	2	1			1	2			2		2	2	12
継続支援	5	7	3	2	5	8	2	4	5	1	9	9	60

令和5年度 地域活動支援センターすきっぷ 事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡嬭恋村三原 876 番地 11
利用定員	10 名（条例上）
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されている。当事業所としては、ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指しながら、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めた。

通所される方々一人ひとりが楽しみながら、段階的に「心・技・体」のバランスを整え、社会の中で主体的にチャレンジできるよう、その基礎固めを目指して支援した。

3、事業内容

事業所としては、以下の事業を実施した。

- (1) 身体機能の維持や向上を目的とした「機能訓練」
- (2) コミュニケーションや対人関係のトレーニングを目的とした「社会適応訓練」
- (3) 日常生活の向上を目指した「自立訓練」
- (4) 社会参加に必要な就労や基礎的技能の向上を目指した「スキルアップ訓練」

4、主たる利用者と利用者の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数（人）	27	27	27	28	28	28	28	29	29	29	29	31	340
開所日数（日）	20	21	20	21	20	21	20	20	21	20	20	21	245
延通所者数（人）	120	117	119	110	106	150	149	128	141	132	127	138	1537
1日平均利用者人数(人)	6.0	5.6	6.0	5.2	5.3	7.1	7.5	6.4	6.7	6.6	6.4	6.6	6.3
利用率（%） (1日平均利用者/定員)	60.0	55.7	59.5	52.4	53.0	71.4	74.5	64.0	67.1	66.0	63.5	65.7	62.7

利用率の伸び悩みの要因として、毎日通所されていた方が2名退所、毎週1回利用されていた方の死亡、コロナに罹患されてお休みとなった方が3名いました。

新たに利用を開始された方が3名で、結果的には昨年度比340名の減に抑えられている。

令和6年度におきましては、令和5年度後半から利用開始された3名の利用が見込めることから、延通所者数の増加につながるのではないかと期待している。

5、余暇関連について

コロナが第2類から第5類になったことで、外出行事も計画しやすくなったことから、前年度よりも多くの計画を実施した。

【季節行事】

お花見、七夕祭り、収穫祭、食事会、クリスマス会、年末大掃除、初詣、日帰り温泉利用など、これまでの行事に加え、新たな行事にもチャレンジした。

【施設内行事・訓練】

施設内行事としては、節分や誕生会を実施した。

日中活動の在り方の見直しとして、障害種別ごとに空間を作り、その中での活動をしたことで、安定した取り組みを行った。

食事・排泄・身体介護に関する取り組みとして、作業療法士が作成したプログラムを活用し、身体機能の維持に努めた。

健康管理、日常生活上に係る相談・助言としては看護師による健康相談を実施した。

6、今後として以下の課題があげられる。

- (1) 利用実績を高めるため、「すきっぷ」の存在をどのように広報していくか。
- (2) 利用されているご家族に、「すきっぷ」での1日の様子をどうしたらお知らせできるか。
- (3) 年数、走行距離等を考慮し、送迎車両をどう確保するか。

孺恋村から提供されている2台の送迎車について。

ボクシー 平成28年5月初年度登録 走行距離135,000km、

ポルテ 平成28年5月初年度登録 走行距離124,000km

- (4) 令和6年度以降も引き続き指定管理者となることから、同期待に応えていくか。